

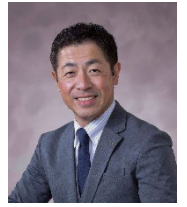


2025～26 年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ

# Weekly Report Niigata

よいことの  
ために  
手を取りあおう

Rotary



2025～26 年度  
新潟ロータリークラブ会長

佐藤 邦栄

新潟 RC 5 月第 2 例会 (2026.5.19) No.3602

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間 (佐藤 邦栄会長)

先週の火曜日、例会後に、職業奉仕委員会の職場訪問に行ってきました。ロータリーの人脈を活かした滅多に見ることができない価値ある訪問先で、最先端の半導体関連企業を見学し、勉強してまいりました。高橋智則、職業奉仕委員会委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、企画・運営いただき、ありがとうございました。詳細は、後程、高橋委員長の方から報告させていただきます。尚、懇親会は、新潟 RC に大変ゆかりのある場所、北方文化博物館で開催されました。ちょうど、藤の花が見ごろで、白や淡いピンク、紫の藤の花が見事に咲き誇っており、ライトアップされる幻想的な雰囲気の中、懇親会で会員の皆様と親睦を深めました。北方文化博物館は、江戸時代から昭和にかけて、大地主であった豪農・伊藤家の旧邸宅を保存・公開するものであり、当時の伊藤家は、1385 ヘクタール（東京ドーム約 300 個分）の広さの土地を所有し、越後随一の大地主であったということです。その伊藤家の第 7 代当主伊藤文吉氏は、北方文化博物館の初代館長であり、新潟 RC が 1940 年に設立された時の、29 名のチャーターメンバーの 1 人でもあります。伊藤文吉さんは、その後、1945 年から 4 期、クラブ会長を務められ、その翌年の 1949 年には、敦井栄吉さん（敦井栄一さんの祖父）が会長を務められました。伊藤文吉さんは、新潟 RC 創立 15 年記念誌で、「新潟ロータリーが創立されるまで」と題し、文章を遺されていますので、紹介したいと思います。

「どこの国にも『有史以前』という時代がある。新潟ロータリーにも、それがあってよい。昭和 12 年頃だと思う。筆者の古い親友に柏原君（東京 RC 歴代会長の、第 10 代目柏原孫左衛門さん、慶應義塾大学で一緒だった。尚、東京 RC の本年度 (2025-26 年) 度会長は、お孫さんである第 12 代目柏原孫左衛門さん）という人があった。まだ日本にいくつもないロータリー倶楽部の熱心な世話人の一人であった。『新潟にもロータリーがきっと出来る。そうだとすると早いほどよい』と云ってすすめてくれた。

而して大正 9 年に東京で日本の最初のロータリーを創立した米山梅吉という銀行家を紹介してくれた。筆者はこの米山さんのお供をして方々の倶楽部を訪問する機会を得た。昭和 13 年だったと思うが、米山さんにすすめられて新潟の池田正平氏（チャーターメンバーで第四銀行の役員を歴任）と柏原氏につれられて、当時日本海岸地方唯一の新潟によく似て居る金沢クラブを訪ねた。まだ創立早々の同倶楽部の会長は、『ロータリーの本質である国際性が金沢の旧式の封建的性格に一致しないで困って居ます』と、その苦心を色々話してくれた。実は新潟でもそれと同様の傾向が強かった。新潟人は、英語をきらい、他のクラブと横の連絡をすることを好まず、新潟市だけで勝手に運営することを主張して、仲々できそうもなかった。しかし新潟クラブの恩人池田氏の協力で半年ほど仮例会をつづけて、やっとのことで昭和 15 年 4 月、日本・台湾・朝鮮・満州で第 47 番目に創立された。創立前に新潟にあった国際性を嫌う傾向は未だに存在して居る。馬鹿げた第二次世界戦争はそれで起こり、第三次世界戦争が起こるとすれば、やはりその国際性の欠如が必ず原因する。その不幸を人類の為め未然に防ぐのがロータリーの神聖な存在の理由である。その不幸を耳にする時、いつも筆者は心で泣いて居る。

而して自分の努力の足りぬことを天を仰いで恥てゐる。ロータリーから国際性を取り除いたら『ゼロ』に近いものである。決して英語をあやつる必要はない。ロータリー全会員がこの国際性に目ざめる様に優しく努力をつづけることを同志に誓うものである」

このような文章を遺されています。今回の北方文化博物館の訪問を通じて、新潟ロータリーの原点に触れることができたと同時に、今まさに世界情勢が混沌とする中で、ロータリーが標榜する相互理解と世界平和の実現に向け、伊藤文吉さんの想いを、改めて引き継いでいかなければならないと感じた次第です。新潟クラブでは、徳永先生や宇尾野さんが、ミャンマーの医療支援など、国際事業を熱心に実施していらっしゃる。また、姉妹 JC の香港島東 RC とも意義ある交流を行うことで、国際性を養っていきたいと感じました。

次に、先週末開催された、前橋 RC とのゴルフ・野球対抗戦の報告をさせていただきます。ご参加いただいた皆様、設営いただいた、ゴルフ同好会・野球同好会・親睦委員会の皆様に感謝申し上げます。ゴルフと野球の結果は、後程、同好会報告でさせていただきますが、当日は、懇親会に来月 90 歳、卒寿を迎えられる、前橋 RC 重鎮、荒木肇さんにも元気にお越しいただきました。懇親会の 2 次会で芸妓さんを手配したのですが、紅子さんがお気に入りのようで、とても元気にお話をされていたのが印象的でした。1994 年から 32 年続く、前橋 RC との交流を無事に本年度終えられたことを報告させていただきます。

以上で会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

### (3) ロータリーの 5 月号の紹介（大竹岳史広報会報雑誌委員）

### (4) 高橋智則職業奉仕委員長報告

5 月 12 日（火）に実施した職場訪問について

20 名の方が参加、聖籠にあるグローバルウェーブ・ジャパン本社・新潟工場、北区島見にあるナミックステクノコア（研究開発センター）、江南区にある北方文化博物館を見学。最初に訪問したのは、グローバルウェーブ・ジャパン本社・新潟工場です。現代社会を支える重要な基盤技術である半導体の材料となる単結晶シリコンウェーハを製造する同社は、世界的にも高い技術力と販売シェアを持つ企業です。当日は、シリコンウェーハの製造工程やナノレベルの精度が求められる分野における徹底した品質管理、安全管理について詳しくご説明いただきました。そして、普段はなかなか見ることのできない製造現場を特別に見学させて頂き、安定供給を支えるための創意工夫や、技術開発が同社のものづくりの強さを支えていることを学びました。さらに、世界市場を相手にしながらも、地域に根差した雇用や、脱炭素への取り組みにも力を入れておられ、企業としての社会的責任を果たされている姿勢にも深い感銘を受けました。続いて訪問したのは、ナミックスの研究開発拠点であるナミックステクノコアです。ナミックスは、電子材料分野（導電材料で 60%、絶縁材料で 30% 超の世界シェアを持ち）、世界的に高い評価を受けている地元新潟の企業です。見学会の冒頭、小田嶋社長さまからご挨拶を頂き、ナミックステクノコアは 2008 年に建てられた「30 年経っても色褪せない」というコンセプトで設計されたとても斬新なデザインの建物であり、世界の化学メーカーに引けを取らない設備が揃った研究施設であると伺いました。こちらでは最先端の技術開発に取り組む現場を見学させていただきました。特に、研究開発に対する姿勢として、「オンリーワン、ナンバーワン企

業」を目指し、新しい可能性に挑戦し続けているところが非常に印象に残りました。

社会の課題を見据えながら潜在的ニーズに対応する技術開発を続けているところが同社の強さの源泉であることを学びました。世界を舞台に活躍する企業が新潟に存在していることを、改めて誇らしく感じた次第です。その後訪問したのが、豪農の館 北方文化博物館です。皆さんご存じの通り、北方文化博物館は越後随一の大地主であった伊藤家の邸宅であり、ご当主であった 7 代目伊藤文吉氏は新潟 RC のチャーターメンバーであり、会長も務められた方です。北方文化博物館では、佐藤館長さん自らご案内頂き、普段はなかなか見ることのできない特別なお部屋や庭園をご案内いただきました。伊藤家の歴史や、地域文化を守り伝えてこられた歩みについて丁寧に説明いただき、新潟の歴史と文化の奥深さを改めて学ぶ貴重な機会となりました。また、Netflix のドラマ、細木数子の撮影裏話などもお聞かせ頂き、佐野由香利大委員長がとても喜んでおられました。残念ながら大藤棚はピークを越えてしまっておりましたが、新しく造られた八藤園というエリアの藤が見頃を迎えており、夕暮れの空と藤棚の美しい景色、さらにライトアップされた幻想的な風景は大変印象的で、参加された皆さまにもとても喜んでいただけました。夜の懇親会は、北方文化博物館内の古民家食堂「みそ蔵」にて開催し、大いに盛り上がりました。落ち着いた趣ある空間で、羽釜で炊いたご飯がとても好評でした。今回の職場訪問により、会員相互の親睦を深めながら、学びを共有できたことは大きな成果であったと考えております。ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

### (5) 同好会報告

・佐藤 邦栄ごフル同好会幹事 前橋クラブ 8 名、新潟クラブ 14 名で対抗戦を行った。優勝、前橋クラブゴルフ同好会 矢端会長、準優勝 前橋クラブ 福島さん、団体戦 前橋クラブ 勝利とホスト冥利に尽きる結果となりました。同時開催の新潟クラブ月例では、3 位となった、長谷川慎さんが、参加 2 回目にして新潟クラブ初優勝を飾り、歴史に名を刻みました。

### ・大澤 強野球同好会キャプテン

5 月 17 日（日）天候に恵まれ、前橋ロータリークラブさんとの親善野球試合を行いました。前日のゴルフコンペ、表彰式懇親会そして野球とお疲れの選手も多かったかと思いますが、懇親を深め楽しい野球をすることができました。会場は新潟市濁川野球場、お聞きしましたらこの球場は諸課題があり 11 月で閉鎖するそうです。この親善試合が新潟 RC 野球同好会として最後のグラウンド使用になったのかもしれませんが。本多監督の初陣であり、試合前に円陣を組み監督のかけ声で士気を高めスタート。

新潟 RC の先発ピッチャーは初めての千葉さん、前橋 RC さんは、大本キャプテン。

「打って」「走って」「守って」たまに失策・エラーなど、両ベンチから拍手や、笑いがおこる楽しい試合展開でした。

新潟 RC の記憶に残ったナイスプレーは、吉田さんの大きなレフトフライの好守、岸本さんの後逸しないキャッチングと強打、廣田さんの経験豊かな投球術（3 者凡退）、杉村さんのタイムリーヒット、睡眠不足の中？1 塁からホームまで駆け抜けた佐藤会長など、全員野球で汗をかきました。結果は 5 - 7 で惜敗と本多監督の勝利は次回へと持ち越されました。終了後、前橋 RC さん記念撮影。親睦を深めることができ、誰一人怪我なく終了できた有意義な一日となりました。

#### (6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

本間 彊君 佐藤 紳一君

米山奨学会寄付発表(石川 治彦副委員長)

佐藤 邦栄君 杉村 章君

岸本 幹生君

青少年育成基金寄付発表（栗原美樹委員長）

坂井 賢一君 本間 彊君

栗原 美樹君

#### (7) ニコニコボックス紹介（石橋 正利委員長）

・前橋 RC 荒木 肇君 先般の新潟 RC v s 前橋 RC のゴルフ、野球親睦大会には協賛会員として懇親会より参加致しました。二次会には佐藤邦栄会長さん、高橋秀松ゴルフ同好会会長さんのお計らいで私の卒寿の祝を開催していただき古町芸妓さんの踊りを堪能致しました。感謝、感謝、感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

・長谷川慎君 先日のゴルフコンペで総合 3 位、新潟で 1 位になりました。1 日楽しくプレーさせて頂き、ありがとうございました。

・石井 宏明君 結婚記念日と誕生日のお祝いありがとうございました。53 才となり、そろそろ会社から肩をたたかれる年になりました。

・佐野 由香利君 パースデーワインありがとうございました。

・五十嵐弘幸君 新潟日報のクロスワードパズルに

応募したら当選し、図書カードをいただきました。選んでいただき、ありがとうございました。

・石橋 正利君 柏崎市立小学校の 6 年生にお話してきました。わずか 12 人でした。「生きる力」を高めるワークを楽しんでもらいました。

#### (8) 会員スピーチ

「青少年育成基金 身近にできる応援」

栗原美樹 青少年基金管理委員長

#### (9) 5 月 19 日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
80	79	45	56.96 %

Zoom 参加 6 名

5 月 26 日の例会プログラム

卓話 (株)バイオマスレジマーケティング

代表取締役社長 山田 眞氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

## 次年度理事会報告

日時：2026年5月19日(火)11:30~12:10 出席者 8名

### (1) 次年度会長挨拶 (坂井エレクト)

次年度方針として、人と人とのつながりを大切に、「このクラブに来ると楽しい」、「仲間に会いたくなる」、「また参加したい」と思えるクラブにしたい。

同好会活動を活発化したい。同好会を1つ復活(料理)、3つ増やす(自転車、釣り、麻雀)

### (2) 次年度予算について (坂井エレクト)

①会員数89名を前提として予算を組んだ

②予備費は2,012千円を計上した

③社会奉仕委員会費 海岸清掃の帽子代として30万円を計上した

目的はRCを周知してもらうこと、および熱中症対策

④青少年奉仕委員会費について、IAC費を70万円とした

部員が40名に増えたため、年次大会予算@8千円/一人なので50万円→70万円に増額した

### (3) 役員、理事からの意見

(小林理事) この段階でスケジュールが組まれていることは素晴らしい、資料の出来も素晴らしい

(若槻理事) 次年度のクラブ予定表につき、スケジュールの日程は確定か?

(坂井エレクト) ほぼ確定です

(大澤理事)

海岸清掃後のバーベキュー代について、インターアクトからの参加者分の費用はどうするのか?参加人数が増えることはありがたいが…

(佐藤会長)

インターアクトはボランティアなので全額クラブ持ちではなく、補助にしないと後々大変になる。多少は個人負担して貰った方が良い

(坂井エレクト) 受益者負担といたしましょう

(佐藤会長)

クラブアッセンブリーまでにミッションを提供しなくて良いのか?

昨年まではクラブアッセンブリーの席に現、次年度委員長を出席させていたのだが、今年度から次年度委員長のみ出席とした。よって、クラブアッセンブリーまでに引継ぎを行ってもらう必要がある

(坂井エレクト)

クラブアッセンブリー後、5月末までに事業計画を提出して欲しい

クラブアッセンブリーにて、各委員長から意気込みを発表して貰いたい

理事からも一言ずつお話頂きたい

(坂井エレクト) 例会での握手タイムを復活させたい

(小林理事) やるならテーブル毎にした方が良い、全体でやると大変

(坂井エレクト) ご意見を参考に検討する

(坂井エレクト) 次年度の例会の席はくじ引きで決めたい

いつも同じメンバーで固まらず、なるべく多くの方と交流して欲しい

(小林理事) SAAの立場から言うと、委員会毎の席次は面倒である、委員会毎に出席数が違うので

(若槻理事) 委員の立場から言うと、委員会毎の席次は有難い、

委員会内での相談や情報交換がやり易いので

(小林理事) なるほど、それではお任せします